

京都府立医科大学附属図書館
令和7年度第1回企画展示

仏教と医療

附属図書館カウンター前

令和七年五月二十二日(木)

～六月十日(火)～

仏教と医療には、古くから密接な関わりがあります。
仏教の經典には医学の記述が数多く記され、僧侶は修行の一環として病人の看病や治療を行っていました。
現代においても、生老病死の苦しみに対して精神的な救いをもたらそうとする仏教と、身体的な治療を行う医療は、人々の一生に深く関わっています。
仏教と医療のつながりを知ることができる本を集めました。

〈連携企画 特別講演会〉



●特別講演会
こころテックと伝統知テックで
生老病死の苦悩を超えられるか?
～心のサポートテクノロジーやAIプログラムの開発～

京都大学
人と社会の未来研究院
教授
熊谷誠慈 (くまが せいじ)



熊谷 誠慈 先生
熊谷先生は、仏教の思想と現代のテクノロジーを結びつけ、心のサポートテクノロジーやAIプログラムの開発に取り組んでいます。今回の講演では、生老病死の苦悩を超えられるか?というテーマで、熊谷先生の研究について詳しくお話します。

【開催日時】2025年6月3日(火) 14:00開始 【会場】附属図書館(本館)1階(事前申し込みが必要です)
【会場】京都府立医科大学附属図書館(学芸部)401号室(事前申し込みが必要です)
【主催】京都府立医科大学附属図書館

●お問い合わせ
附属図書館 企画・広報課 075-726-5111(内線2222) 受付時間:午前9時～午後5時(土日祝祭日を除く)
学芸部 学芸課 075-726-5111(内線2222) 受付時間:午前9時～午後5時(土日祝祭日を除く)

●講演料
講演料:無料(会場費を含む)
講演料:無料(会場費を含む)